

**PRESS RELEASE**

2010年11月18日

報道関係各位

データ・ケーキベーカ株式会社

データ・ケーキベーカ社、複数のクロス表を統合し、意味のある情報に可視化するソフト  
“連環データ分析 スタンダード版”を発売  
～表データの集計ケイサンから、表データの要約デザインへ～

データの情報化・知識化のためのソフトの開発型のベンチャー企業であるデータ・ケーキベーカ株式会社(多摩市 社長唐澤英安)は、従来からクロス表を可視化し情報化する“連環データ分析のベイシック版”ソフトを発売しておりましたが、この度、11月25日より、本格的に“連環データ分析スタンダード版”をSaaS(レンタル型サービス)としてビジネスを開始すると、本日(11月18日)発表しました。

このたび本格バージョンとして発表しました“連環データ分析スタンダード版”は、従来1枚だけのクロス表データしか扱えなかったベイシック版を拡張し、行アイテムを共有する複数のクロス表なら50枚までのデータを統合して可視化することができるようになりました。これによって、意味のある情報を抽出する可能性広がり、また従来は別々だったデータも統合して解析する可能性も大きくなりました。

“連環データ分析”は、いままで表計算ソフトで集計計算されて済まされていたクロス表データから情報を抽出するため、データを要約し、マップ化して、意味のある情報に可視化するソフトとして開発されてきました。具体的には、クロス表データを情報圧縮技術によって2～5次元くらいの空間に機械的に近似展開してマップ化し、表側(行アイテム)と表頭(列アイテム)を同時布置し、これによって同時クラスタを可能にした世界に先駆けたユニークな機能を基本機能として実現してきました。

表計算ソフトは、クロス表の処理のため、パソコンの初期からテキスト編集と共に、重要なアプリケーションの領域の1つとして発展してきました。しかし、表計算ソフトは、クロス表から、合計、平均、分散、相関係数等のデータの個性を消して、全体を代表するいくつかの数値に集計する計算が主な機能でした。また可視化としては、棒グラフ、円グラフ、折れ線グラフおよび散布図などを図示することができました。しかし、

これらも、クロス表のもつ全体の情報を要約して1つのグラフに可視化することはできませんでしたし、複数あるクロス表の全体をまとめる表現は、非常に困難でした。

データは、その人にとって関心のアイテムと関連するアイテムとの組み合わせの特徴によって、意味のある情報となります。今回、表側のアイテムが共通であれば、50組までのクロス表の組み合わせが可能となったことで、関連する表頭のアイテムの選択の幅が広がり、関係性の検討の範囲が広がり、情報化の可能性が広がりました。

また、従来、別々に蓄積され、分析されてきたデータでも、共通するアイテム群が見つかれば、それらを統合して、意味のある情報を抽出することが可能になりました。

連環データ分析は、以下の特徴を持っておりますが、今回発表のスタンダード版もそれらを継承し、前回発表しましたベイシック版に対し上位互換性を持っております：  
(今回のスタンダード版の新しい機能は◎印を付した)

#### 【機能】

- 表側アイテムと表頭アイテムの同時布置および同時クラスタリング
- 3D 意味空間のウォークスルー
- プレゼン資料の作成を支援する使いやすい描画機能
- ◎表側を共有する複数のクロス表の扱い
- ◎多次元空間の相関性距離と通常距離の選択オプション

#### 【技術】

- クロス表データの多次元情報の少数次元への圧縮近似展開の最新アルゴリズム
- 定性的・定量的・順序的変数の統合的扱い
- 社会現象に多発するべき乗分布データの平準化
- ◎クロス表の同時情報圧縮と、尺度、原点、方向の調整アルゴリズムの開発
- ◎距離概念の拡張

#### データ・ケーキベーカ株式会社について

データ・ケーキベーカは、“for Innovation Story”をキー・ワードに、2000年に設立されました。まずは、データを原料とし、ケーキングして固め、ベーキングして膨らませて、美味しく味わうことができるカンカを目指し、多くのデータ・パティシエ達に使って頂くためのソフトツールの開発型ベンチャを目指しております。

環境情報の第4世代で大切となる、データから意味のある情報や役に立つ知識を形にするデータ・リテラシーの向上に、少しでも貢献したいと考えております。

さらに詳しい情報は、URLをご覧ください：<http://www.dcb.co.jp>

データ・ケーキベーカ株式会社

東京都多摩市桜ヶ丘1丁目53番地の46

TEL：042-357-6871 FAX：042-357-6871

<http://www.dcb.co.jp>

本件に関するお問い合わせ：唐澤/古山 [dcb@dcb.co.jp](mailto:dcb@dcba@dcb.co.jp)

以上